

# 愛知県経済の現状と見通し<2013年12月>

## 1. 総括判断

景気の現状	景気は回復色が鮮明になっている	基調判断の 前月との 比較(注1)	↗ ↗	水準評価 (注2)	☀️   ☁️
当面の見通し	回復傾向が持続する見通し			水準評価 (注2)	☀️   ☁️

## 2. 個別項目の動向

個人消費	基調判断	回復に向けた動き			図表1	名古屋市・百貨店販売額<前年比>
	基調判断の 前月との 比較	↗	水準 評価	☀️   ☁️		
<p><b>◀️現状</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、10月の名古屋市内百貨店販売額は前年比+1.8%の増加。3か月連続の増加となったものの、伸び幅は前月に比べて縮小。</li> <li>○品目別にみると、主力の衣料品(前年比▲2.1%)は3か月ぶりの減少となったものの、貴金属、宝石、腕時計などの高級品を含むその他商品(同+13.0%)は大幅な伸びとなるなど好調。</li> <li>○一方、11月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、30,335台・前年比+13.4%と3か月連続の前年比プラス。</li> <li>○車種別にみると、軽乗用車(前年比+24.6%)、小型車(同+11.8%)は二桁を超える伸び。普通車(同+7.4%)はプラスながら伸びはやや鈍化。</li> </ul> <p><b>◀️見通し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高級腕時計、貴金属、宝飾品、海外ブランド品など高額商品の売れ行きは引き続き好調に推移。貸金・賞与増の動きが消費者マインド改善につながるなかで、クリスマス・年末商戦において客単価上昇の動きもみられる状況。</li> <li>○乗用車については、来年4月の消費税率引き上げを見据えた駆け込み需要が本格化していることに加え、新型車販売効果などもあり、販売は堅調に推移する見通し。</li> </ul>						
					図表2	新車乗用車販売台数<前年比>
					<p style="background-color: yellow;">◆11月 新車乗用車販売台数&lt;含む軽&gt;</p> <p>30,335台 前年比+13.4%(3か月連続の増加)</p>	

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↗:上方修正、↔:据え置き、↘:下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️:晴、☀️☁️:晴~曇、☁️:曇、☁️☔️:曇~雨、☔️:雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話:059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	回復色が鮮明に		
	基調判断の前月との比較	↗	水準評価	☀️   ☁️
	<p><b>《現状》</b></p> <p>○10月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.39倍と8か月連続、新規求人倍率(同)は2.20倍と2か月連続の上昇。</p> <p>○愛知県の有効・新規求人倍率はともに全国レベルでも高い水準で推移し続けている状況。</p> <p><b>《見通し》</b></p> <p>○生産活動が徐々に回復に向かうなかで、製造業における求人が増加する見通し。</p>			

**図表3 有効・新規求人倍率<季節調整値>**

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

**◆10月 求人倍率<季節調整値>**

- 有効求人倍率: 1.39倍  
前月差+0.01ポイント(8か月連続の上昇)
- 新規求人倍率: 2.20倍  
前月差+0.07ポイント(2か月連続の上昇)

企 業 活 動	基調判断	回復に向けた動きが広がる		
	基調判断の前月との比較	↗	水準評価	☀️   ☁️
	<p><b>《現状》</b></p> <p>○9月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比+10.8%と2か月ぶりのプラス。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同+10.6%)の生産増加が主因。</p> <p><b>《見通し》</b></p> <p>○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、10月も2か月連続で大幅な前年比プラスとなっていることから、生産活動は引続き回復基調で推移する見込み。</p>			

**図表4 鉱工業生産<前年比>**

(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」

**◆9月 鉱工業生産**

- 前年比+10.8%(2か月ぶりの上昇)
- うち輸送機械 前年比+10.6%(4か月ぶりの上昇)

輸 出	基調判断	回復している		
	基調判断の前月との比較	↗	水準評価	☀️   ☁️
	<p><b>《現状》</b></p> <p>○10月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+21.0%と10か月連続の増加。二桁の伸びは7か月連続。</p> <p>○仕向地別にみると、中国向け(前年比+46.9%)が大幅な伸びとなったほか、米国向け(同+28.1%)、西欧向け(同+26.2%)でも二桁を超える伸び。</p> <p><b>《見通し》</b></p> <p>○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(10月:前年比+7.7%)が2か月ぶりのプラス。北米向け、アジア向けが前年比マイナスとなったものの、欧州向けが前年比プラスとなったことが主因。引続き海外需要は底堅く推移する見通し。</p>			

**図表5 名古屋港通関輸出額<前年比>**

(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

**◆10月 名古屋港通関輸出額**

10,032億円 前年比+21.0%(10か月連続の増加)